

「第2回イブニングセミナー in 酒田」が開催されました

11月15日（火）、酒田市のガーデンパレスみずほで「第2回イブニングセミナー in 酒田」が開催されました。

このセミナーは、酒田港として初の外国船籍である「コスタ ネオロマンチカ」が、来年8月2日に寄港することとなったため、クルーズ船の受入体制を整備し、継続的かつ更なる寄港増加につなげることを目的として“プロスパーポートさかた”ポートセールス協議会が主催したもので、約130名が参加しました。

セミナーでは、コスタクルーズ日本支社の糸川雄介支社長が、「コスタクルーズの寄港で幕開けする、酒田港の可能性」と題し、寄港時の対応や酒田港の可能性などについて講演されました。

糸川支社長は、「船会社の特徴、乗客の国籍別の嗜好を把握し対応することが重要。」「歓迎行事は、盛大に行ってほしい。ただし、年に何度もクルーズ船が寄港することを想定し、コスト面など継続可能な方法を検討するべき。」「ファミリー向けのレンタカープランや、ビーチパラソルを用意し海水浴場で遊び、昼食を取るなどといった今までのツアーとは発想を変えて対応するの一案。」などと述べられました。



コスタクルーズ日本支社
糸川雄介支社長



講演の様子



質疑応答



交流会では、丸山至酒田市長から
糸川支社長に記念品贈呈

